

人権強調月間(8月)における人権啓発の取組について

平成 24 年 7 月
京都府人権啓発推進室

東日本大震災では、多くの尊い命が奪われました。その一方で、復興に向かって支え合う被災地の方々、支援に向かうボランティアの方々の姿は、「命」について見直すきっかけになったと思います。また、幼い子どもの養育放棄による死亡事件や交通事故、高齢者の孤独死などの事件が相次いで報じられています。

京都府と京都人権啓発推進会議では、人権強調月間(8月)を契機に、府民の皆さんに改めて「命の大切さ」を考えていただけるよう様々な啓発活動を重点的に実施することとしています。

1 「命の一冊」の募集

「命の大切さ」を考えるきっかけになった図書を「命の一冊」と名付け、特設ホームページを開設し、府民の皆さんから「命の一冊」を募集します。自分にとっての「命の一冊」を考えて投稿していただき、また、ご覧いただくことができます。

- HPアドレス: <http://inochinohon-kyoto.jp>
- 投稿可能期間: 8月1日(水)～9月30日(日)

広く応募を呼びかけるため、次のメディアを活用します。

- ①ポスター掲出
府内の公共交通機関の駅や車内、公共施設に「命の一冊」ポスターを掲出。
- ②新聞意見広告の掲載
8月1日付けの日刊5紙(京都・朝日・毎日・読売・産経)に「命の一冊」募集広告を掲載。
- ③京都新聞電子版にインターネットバナー広告の掲載

2 音楽イベントの開催

(1) ハートフルコンサート

家族で楽しんでいただける心温まるコンサートを、昨年に比べ1時間拡大して開催します。会場周辺では人権に関する様々なパネルを展示します。

日 時: 8月6日(月) 16:00～18:00

会 場: 京都駅ビル駅前広場

出演者: 宇治市立広野中学校吹奏楽部、原田博行、ワイワイ・クラブ・バンド

(2) HUMAN LIVE KYOTO 2012

今回で3回目の開催となる音楽イベント。

今年のテーマは「ひろがる 人の和命(こころ)の めくもり」。京都人権啓発学生サポーターが、この日に向けて一生懸命考えた「命」を大切にしたいという思いをお届けします。

日 時:9月7日(金)<ステージ> 15:30~19:00 <ブース>13:00~19:00

会 場:京都駅ビル室町小路広場(大階段)、駅前広場

内 容:音楽ステージ(出演者:IMALU、おかん、拝郷メイコ、オトノハネプロジェクト、
Baby's Breath)

ブース(サンキューメッセージ大募集、エコキャッププロジェクト、東日本大震災について考えるブース、子どもの人権に関するブース)

3 有識者による座談会の開催

「大学と連携し、若者の主体性が発揮できる人権啓発活動」をテーマとし、これまでの大学連携の成果や課題、今後の展望について、有識者による座談会を開催し、その概要を9月2日付の京都新聞朝刊に掲載します。

期 日:8月2日(木)

出演者:京都教育大学教授 伊藤 悦子 氏
京都嵯峨芸術大学教授 森本 武 氏
京都造形芸術大学教授 志賀 公江 氏
佛教大学准教授 岡本 晴美 氏
京都府副知事 太田 昇
<司会>京都新聞論説委員 十倉 良一 氏

4 街頭啓発の実施

人権強調月間を機に、人権尊重に関する社会的な機運を盛り上げるため、府内全域で全市町村や関係団体の参加の下、駅や大規模商業施設の周辺などで街頭啓発を実施します。

実施場所	日 時	場 所	参加者	啓 発 物 品
京都市内	8月6日(月)16:00~17:00	京都駅(主会場)、四条河原町、烏丸北大路、四条大宮、伏見桃山の5箇所	約100名	付せん (啓発メッセージ、相談機関連絡先の印刷入)
京都市外	8月上旬、各市町村毎に実施 (時期は各市町村で決定)	駅前、商店街等 約60箇所	約600名	

